

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新たな見せ方による観光地推進と御柱祭活用による情報発信事業
事業主体 (連絡先)	諏訪地方観光連盟 諏訪市高島1-22-30 諏訪市役所観光課内 0266-52-4141
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	7,130,828円 (うち支援金: 5,704,000円)

事業内容

- 情報集約事業
 - 諏訪エリア統一パンフレット作成
 - 映画「バースデーカード」ロケ地マップ作成
 - 諏訪圏FC10周年記念誌作成
- 情報発信事業
 - 諏訪エリア着地型情報発信
 - 信州・諏訪観光PR展
- 受入体制整備事業
 - 観光従事者に向けた情報共有、人材育成研修
 - 富士見パノラマリゾート雲海ゴンドラ
 - 車山スキー場 星空観賞
 - 水陸両用バス



【信州・諏訪PR】

【目標・ねらい】

- 御柱祭やロケ受入実績等地域の独自性を踏まえた情報を集約、発信する。
- 集約情報を観光客の滞在時間延長、消費額拡大につなげる。
- 地域として観光客の受入環境を整え、継続的な観光誘客につなげる。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 情報集約事業
 - 観光宣伝大使やロケ協力者等と共に、地元の食、星空等、従来の「諏訪」観光パンフレットにないスポットを吟味し、取材協力を得て情報集約することで、滞在促進につながるツールを整備できた。
- 情報発信事業
 - 取材実績等を活用し、WEBでモデルコースや具体的な滞在拠点を提案。滞在時間の延長へつなげる具材を発信できた。また、首都圏で地元企業のツール貸与等協力を得た情報発信により、諏訪来訪の機会を創出。
- 受入体制整備事業
 - 星空、雲海等全国的に注目を浴びている素材の体験機会をつくることで、今後のエリア周遊案内につなげた。

※自己評価【A】

【理由】観光宣伝大使やロケ協力者をはじめとする、地域住民・事業者を巻き込み、情報ツールの整備、発信を行うことで、観光滞在時間の延長・観光消費額増への継続的な事業を実施した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 別途国庫事業として、H28 内閣府加速化交付金を活用し、観光地域ブランド「諏訪の国」を創出。当ブランドの横展開として、「諏訪の国」の看板の基に具体的な観光素材整備を行うと共に、日本版DMOを意識した観光事業組織の整備を模索。
- H29-H31は、内閣府推進交付金を活用しブランド横展開を図り、戦略的な観光地経営を目指す。
- 上記のような状況の中で、当元気づくり支援金事業を複合的に結び付け、効果促進を図る。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある